事業報告書

団体名	天文サークルいちばんぼし	交付額	132,000円
事業名	太陽観測専用望遠鏡の設置	内容	新規事業

〈実施内容〉
・2024/5/9　太陽望遠鏡を購入
・子どもが多く集まる鴻巣児童センターの天文台に設置
・施設職員に天文台への設置と観測会の依頼
・望遠鏡の使い方と注意事項、観測目的等を記載したパンフレット作成
・5～9月で、鴻巣児童センター利用者向けPR事業として1階ピロティ（屋外）で試験的実施
・10月～太陽が見える日に天文台にて太陽望遠鏡での観測会を開始（天候によるため不定期）
・太陽が見える日のみ実施できるため事前周知は困難、プラネタリウム終了後に案内して開催
・天体望遠鏡で太陽の黒点を観測、太陽望遠鏡でその活発なフレアやプロミネンスを観測
・観測記録として参加者が、フレアやプロミネンスの様子をスケッチして記録を持ち帰る

<成果>
・太陽望遠鏡で観測できた様子をスケッチするほか写真を撮り参加者で共有することで参加者同士及び解説者を含め世代間交流ができ、ボランティアの存在も知ってもらえた
・太陽専用の望遠鏡を用いる理由を説明し、太陽を肉眼や普通の望遠鏡で決して観測しない約束を子ども達に伝えられた
・身近な太陽がごく普通の恒星（夜空に輝く星）であることを確認できる機会となった
・太陽と地球の関係や太陽が地球に及ぼす影響等について太陽望遠鏡を通じて理解してもらえた
・太陽望遠鏡を導入した新規事業を実施したことで、地球温暖化や環境問題を考えるきっかけづくりができた
・オゾン層の破壊による地球や人類への害、電磁波による電波障害等に興味を持ってもらえた
・宇宙に存在する天体のうち地球と密接な関係にある太陽の観測は参加者の天文知識の向上に役だった
・今後も継続して子ども、高齢者、企業等にPRし場所を変えて太陽観測を市民に広めていきたい

集客方法	〈申請時〉 ・会ホームページからの案内 ・市の情報誌への掲載等	〈実際の取組〉　事業参加者（集客）数：84人 ・「いちばんぼし」ホームページにて案内 ・プラネタリウム投映の参加者に事業を案内するほか、鴻巣児童センター館内放送で参加を呼びかけた
会員を増やす取組	〈申請時〉 ・会ホームページの入会案内 ・駅掲示板へのポスター掲示等	〈実際の取組〉 ・市のホームページからリンクされている「いちばんぼし」ホームページで随時募集中 ・社会福祉協議会「ボランティア見本市」に参加 ・市民活動センターに登録し会員募集中 ※令和7年4月新会員1名加入

<自由記載欄>
鴻巣児童センターを拠点として活動している団体であり、市（鴻巣児童センター）事業と団体の事業との棲み分けとして、児童センター事業への協力は児童センター設備や備品を使用しており、団体の事業は団体の備品（天体望遠鏡やカメラ、プロジェクター、双眼鏡など）を使用しています。
天文施設を併設している鴻巣児童センターで団体事業を実施することで子どもの集客が望めるため、団体事業実施場所として使用させてもらっていますが、鴻巣駅東口ロータリーでの観望会では、共有スペースを管理会社に許諾願を申請するほか、駅前交番にも承諾してもらい開催しており、鴻巣駅や駅周辺施設を利用する多くの市民に参加してもらっています。
天文関連事業のため、場所と天候に左右され、適所を確保することに苦慮していますが、市民活動補助金を活用させていただき、団体の活動の場と事業拡充が可能となり、大変感謝しています。
団体の活動の中で多くの市民が天文に興味を示し、宇宙の中で地球という唯一人類が生存できる環境を持つ奇跡の星を守ることが必要であることを理解してもらえたり、多くの天体を観測することで地球誕生の神秘を探ることができ感動してもらえたり、宇宙の神秘に触れる機会を持ってもらっています。
今後も団体の活動を通じて多くの市民に当たり前の星空に星の一生をみつけられること、たくさんの奇蹟が重なり人類が存在できていることを考えていただく機会をつくっていきたいと思っています。